

ASDM (On-Box Management) による FirePOWER モジュール設定のバックアップと復元の設定

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[バックアップ/復元の設定](#)

[ローカル バックアップ/リモート バックアップの設定](#)

[バックアップのスケジュール作成](#)

[バックアップ プロファイルの作成](#)

[バックアップ タスクのスケジュール作成](#)

[バックアップの復元の設定](#)

[設定のインポート/エクスポート](#)

[設定のエクスポート](#)

[設定のインポート](#)

[トラブルシューティング](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ASDM (オンボックス管理) を使用して、FirePOWER モジュールで設定/イベントのバックアップ/復元を設定する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- ASA の知識 (適応型セキュリティ アプライアンス) ファイアウォール、ASDM (Adaptive Security Device Manager)
- FirePOWER アプライアンスの知識。
- ASDM 設定で FirePOWER モジュール タブが使用可能であることを確認します。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- ソフトウェア バージョン 5.4.1 以降が稼働する ASA FirePOWER モジュール (ASA 5506X/5506H-X/5506W-X、ASA 5508-X、ASA 5516-X)
- ソフトウェア バージョン 6.0.0 以降が稼働する ASA FirePOWER モジュール (ASA 5515-X、ASA 5525-X、ASA 5545-X、ASA 5555-X)

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

背景説明

バックアップ/復元は、主に管理者が定期的に行う有用な作業です。FirePOWER モジュールを、事故発生後に動作状態に復元する場合 (デイザスタ リカバリ) またはモジュール破損後に動作状態に復元する場合 (ファイルまたはデータの回復) に役立ちます。

FirePOWER モジュールには、バックアップと復元のための 2 種類のオプションがあります。

1. ASDM では設定バックアップを作成できます。このバックアップは、デイザスタ リカバリ / データ破損の場合に同じモデルに復元できます。
2. Firepower Management Center (FMC) ではインポート/エクスポート オプションを使用して、設定の各部分のバックアップを実行できます。エクスポートしたポリシーは同じモデルまたは同じバージョンの異なるモデルにインポートできるため、これにはすべてのタイプのポリシーが含まれます。また、モジュール間で設定を移行する場合にもこのオプションを選択できます。

バックアップ/復元の設定

FirePOWER モジュールは、モジュール自体のハード ドライブまたはリモート デバイスのいずれに対してもバックアップを実行できます。

: FirePOWER

ローカル バックアップ/リモート バックアップの設定

FirePOWER モジュールのローカル バックアップを作成するため、[Configuration] > [ASA Firepower Configuration] > [Tools] > [Backup/ Restore] > [Backup Management] に移動し、[Device Backup] をクリックします。

[Name] : バックアップの名前を指定します。

[Storage Location] : ASDM ではローカル ストレージ (/var/sf/backup) だけがサポートされています。

[Email] : 電子メールでの通知を有効にします。電子メール リレー サーバ設定のシステム ポリシー ([ASA Firepower Configuration] > [SystemPolicy]) を設定する必要があります。

[Copy when Complete] : リモート バックアップを設定するにはこのチェックボックスをオンに

します。FirePOWERはバックアップをバックアップサーバに送信するときにSCPプロトコルを使用します。

- **Host** : リモートサーバのIP/ホストを指定します。
- **[Path]** : リモートディレクトリパスを指定します
- **ユーザ** : リモートユーザ名を指定します。
- **[Password]** : リモートユーザ名のパスワードを指定します

The screenshot shows the 'Configuration > ASA FirePOWER Configuration > Tools > Backup Restore' page. The 'Backup Management' tab is active. The 'Create Backup' form is displayed with the following fields and values:

Name	Production_backup
Storage Location	/var/sf/backup/
Email	Not available. You must set up your mail relay host.
Copy when complete	<input checked="" type="checkbox"/>
Host	192.168.1.10
Path	/var/backup
User	admin
Password	•••••
SSH Public Key <i>To use ssh keys place this public key in your authorized_keys file.</i>	ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAADAQ...

Buttons at the bottom: Start Backup, Save As New, Cancel.

[Start Backup] オプションをクリックしてバックアッププロセスを開始します。[Save As New] オプションを選択すると、[Backup profile] で使用できるバックアッププロファイルが作成されます。

バックアップのスケジュール作成

デバイスの設定の適切な時点でのバックアップをスケジュールできます。バックアップスケジュールでは、デバイスのバックアップ処理を時間単位/日単位/週単位/月単位で自動化できます。バックアップをスケジュールするには、次の2つの手順を実行します。

ステップ 1 : バックアッププロファイルの作成。

ステップ 2 : バックアップタスクのスケジュール作成。

バックアッププロファイルの作成

バックアッププロファイルを作成するには、[Configuration] > [ASA Firepower Configuration] > [Tools] > [Backup/ Restore] > [Backup Management] に移動し、[Backup profile] をクリックします。

バックアッププロファイル作成オプションは、直前の項 (「ローカルバックアップ/リモートバックアップの設定」) で説明したオプションに似ています。

バックアップタスクのスケジュール作成

バックアップ タスクをスケジュールするには、[Configuration] > [ASA Firepower Configuration] > [Tools] > [Scheduling] に移動し、[Add Task] をクリックします。

[Job Type] : ドロップダウンリストからジョブ タイプとして [Backup] を選択します。

[Schedule Task to run] : タスクをスケジュールする頻度を定義するオプション ボタンを選択します。
。

[Start On] : ドロップダウンリストから、バックアップ開始日の日付を選択します。

[Repeat Every] : バックアップ スケジュール タスクの繰り返し頻度を [Hours]、[Days]、[Weeks]、または [Monthly] に基づいて指定します。

[Run At] : ドロップダウンリストからバックアップ開始時刻を選択します。

[Repeat On] : バックアップを繰り返し実行する曜日のチェックボックスをオンにします。

[Job Name] : スケジュールしたジョブの名前を指定します。

[Backup Profile] : 以前の手順で作成したバックアップ プロファイルをドロップダウンリストから選択します。

[Comment] : 作成したジョブに関する説明を記述できます。

[Email Status To] : スケジュールされているジョブ バックアップのステータスを送信するため、電子メール リレー ホストを設定できます。

Configuration > ASA FirePOWER Configuration > Tools > Scheduling

Add Task Today

New Task

Job Type: Backup

Schedule task to run: Once Recurring

Start On: April 24, 2016 America/New York

Repeat Every: 1 Hours Days Weeks Months

Run At: 12:00 Pm

Repeat On: Sunday Monday Tuesday Wednesday Thursday Friday Saturday

Job Name: Production Backup Weekly

Backup Profile: Production_backup

Comment: Firepower Backup of Datacenter ABC

Email Status To: Not available. You must set up your mail relay host by editing the System Policy using the Remote Manager.

Save Cancel

[Save] ボタンをクリックして、スケジュール バックアップの設定を保存します。

バックアップの復元の設定

デバイス設定が破損しているか、アプライアンスをリイメージした場合には、バックアップを復元する必要があります。新しくリイメージしたアプライアンスに古い設定を復元できます。

バックアップ タスクを復元するには、[Configuration] > [ASA Firepower Configuration] > [Tools] > [Backup/ Restore] に移動します。 リモート ストレージを設定している場合は、リモート ストレージからバックアップ ファイルを取得し、[Upload Backup] オプションを選択してバックアップ ファイルをアップロードします。

アップロードしたファイルまたはすでに作成されているバックアップ ファイルは、[Backup Management] ページで利用可能です。 復元するバックアップ ファイルを選択し、[Restore] オプションをクリックし、バックアップの復元を開始します。

Configuration > ASA FirePOWER Configuration > Tools > Backup Restore

Backup Management | Backup Profiles

Device Backup | Upload Backup

Device Backups

<input type="checkbox"/>	System Information	Date Created	File Name	VDB Version	Location	Size (MB)
<input checked="" type="checkbox"/>	firepower ASA5506 v6.0.0	2016-04-24 23:13:10	Test_backup-2016-04-25T03-10-32.tgz	build 252	Local	50

Restore | Download | Delete

Storage Location: /var/sf/backup/ (Disk Usage: 16%)

[Restore] をクリックすると、設定データを本当に置き換えるか確認を求められます。 [Restore] をもう一度クリックして、復元プロセスに進みます。

設定のインポート/エクスポート

FirePOWER モジュールでは、さまざまなタイプの設定をコピーするときに使用するインポート/エクスポート機能がサポートされています。これには、同一タイプ/異なるタイプのモジュール間でのポリシーのインポート/エクスポートも含まれます。

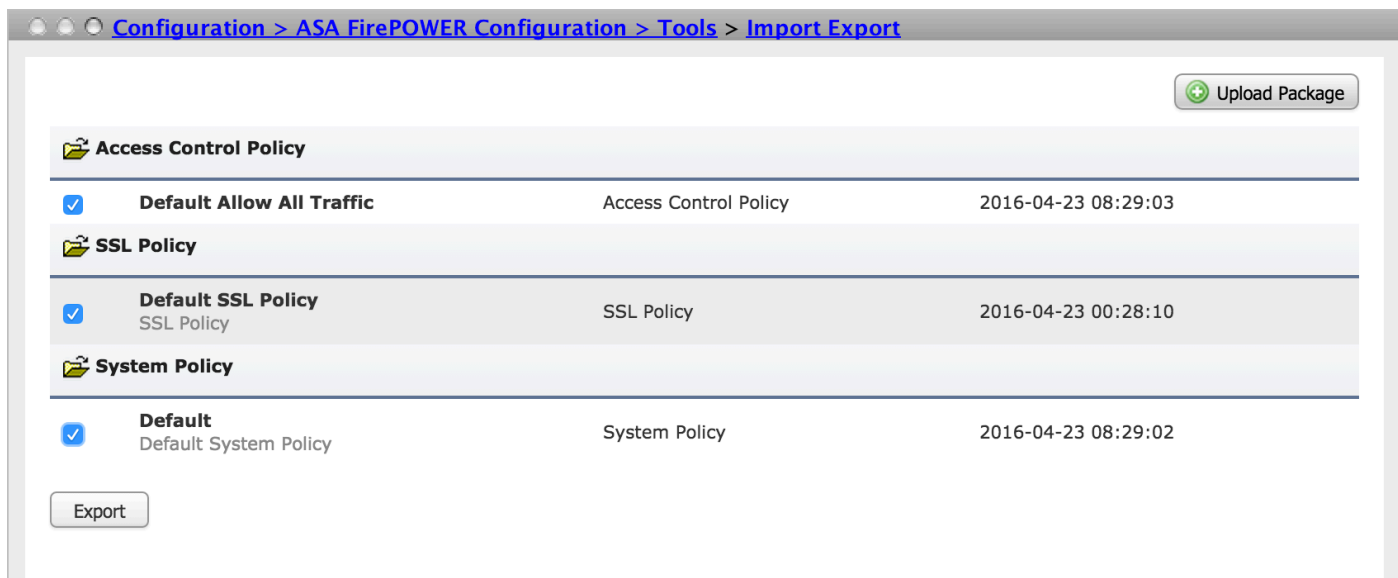
エクスポートおよびインポートできるポリシーのタイプを次に示します。

- アクセスコントロール ポリシー (ネットワーク分析とファイル ポリシーを含む)
- 侵入ポリシー
- システム ポリシー
- アラート応答

設定のエクスポート

設定をエクスポートするには、[Configuration] > [ASA Firepower Configuration] > [Tools] > [Import/Export] に移動します。

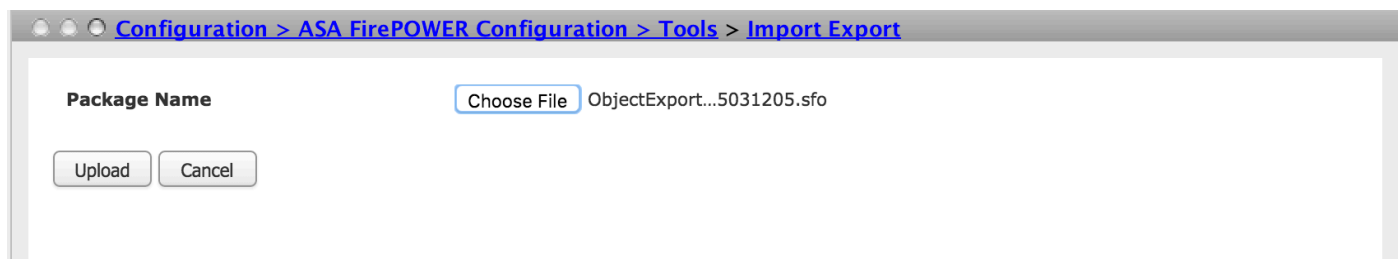
FirePOWER モジュールでは、1つのポリシー、または同一タイプ/異なるタイプのポリシーのセットを、その設定のリビジョン番号と共に一括でエクスポートできます。



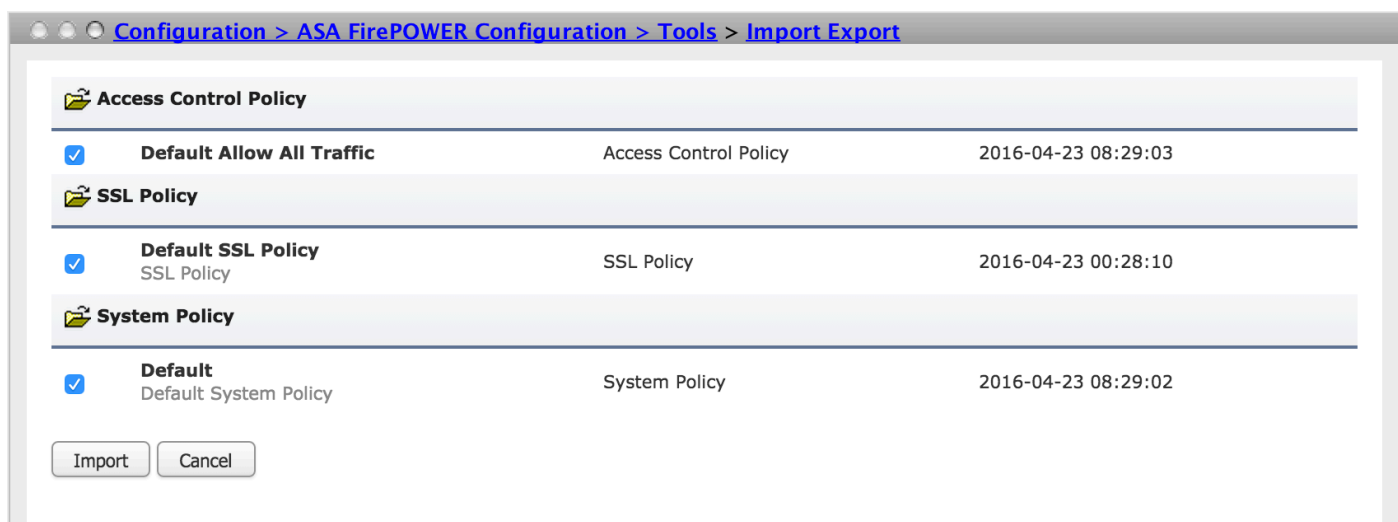
ポリシーをエクスポートするには、[Export] ボタンをクリックします。FirePOWER モジュールから、エクスポート ファイル (*.sfo) を保存するよう求められます。

設定のインポート

ASDM で保存されているエクスポート ファイルをインポートするには、[Configuration] > [ASA Firepower Configuration] > [Tools] > [Import/Export] に移動し、[Upload Package] をクリックします。インポートするファイルを選択して [Upload] をクリックするよう求められます。



次のページに、インポートしたファイル (*.sfo) に含まれているポリシーが表示されます。FirePOWER モジュールにインポートするポリシーを選択します。



ポリシーをインポートするには、[Import] ボタンをクリックします。エクスポートされたポリシーの名前が FirePOWER モジュールに存在するポリシーと競合する場合、FirePOWER モジュールには次のオプションがあります。

- **[Keep Existing]** : このオプションを選択すると、既存のポリシーが維持され、新しいポリシーのインポートは許可されません。
- **[Replace Existing]** : このオプションを選択すると、既存のポリシーを置き換えることができます。
- **[Keep Newest]** : このオプションを選択すると、両方のポリシー (既存のポリシーとインポートされるポリシー) の時刻が確認され、変更時間が新しいポリシーが維持されます。

Configuration > ASA FirePOWER Configuration > Tools > Import Export

Import Manifest

Objects with duplicate names are imported as new objects with a number appended to the name

Default Allow All Traffic (Access Control Policy)
 Default SSL Policy (SSL Policy)
 Default (System Policy)

(group action) ▾

Access Control Policy

Object Name	Policy Type	Action	Created	Modified
Default Allow All Traffic	Access Control Policy	Keep existing ▾	2016-04-23 08:29:03	2016-04-23 08:29:03
SSL Policy				
Default SSL Policy	SSL Policy	Keep existing ▾	2016-04-23 00:28:10	2016-04-23 00:28:10
SSL Policy				
System Policy				
Default	System Policy	Keep existing ▾	2016-04-23 08:29:02	2016-04-24 23:42:33
Default System Policy				

Import Cancel

エクスポートしたポリシーをインポートするには、[Import] ボタンをクリックします。

トラブルシューティング

ステップ 1 : モジュールのコマンドライン インターフェイス (CLI) にログインし、Telnet および Ping コマンドを使用してリモート サーバへのネットワーク接続を確認します。

ステップ 2 : バックアップが保存されているリモート ディレクトリでの Secure Copy (SCP) ユーザの権限を確認します。

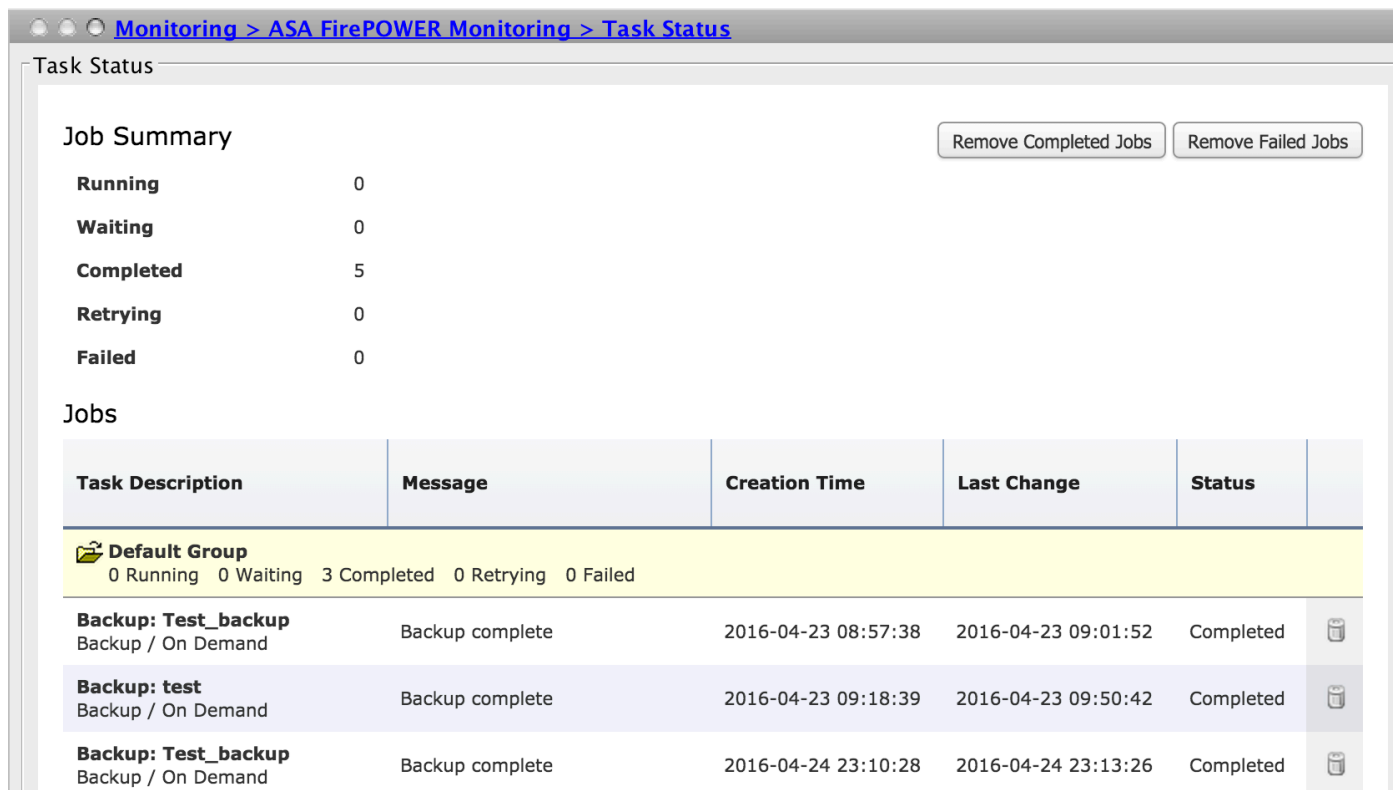
ステップ 3 : ASA FirePOWER モジュールはその情報を使用して、その設定を別のアプライアンスにインポートできるかどうかを判別します。アプライアンスにすでに存在する設定リビジョンをインポートすることはできません。

ステップ 4 : バックアップの復元のために、ソフトウェアのバージョン、ルール アップデート バージョン、VDB バージョン、およびハードウェア モデルが同じであることを確認します。

ステップ 5 : エクスポートしたポリシーのインポートでは、ソフトウェア バージョン、ルール アップデート バージョン、および VDB バージョンが同じであることを確認する必要があります。

確認

ステップ 1 : バックアップ/復元タスクが正常に完了していることを確認するため、[Monitoring] > [ASA Firepower Monitoring] > [Task Status] に移動して確認します。



Monitoring > ASA FirePOWER Monitoring > Task Status

Task Status

Job Summary Remove Completed Jobs Remove Failed Jobs

Running	0
Waiting	0
Completed	5
Retrying	0
Failed	0

Jobs

Task Description	Message	Creation Time	Last Change	Status	
Default Group 0 Running 0 Waiting 3 Completed 0 Retrying 0 Failed					
Backup: Test_backup Backup / On Demand	Backup complete	2016-04-23 08:57:38	2016-04-23 09:01:52	Completed	
Backup: test Backup / On Demand	Backup complete	2016-04-23 09:18:39	2016-04-23 09:50:42	Completed	
Backup: Test_backup Backup / On Demand	Backup complete	2016-04-24 23:10:28	2016-04-24 23:13:26	Completed	

ステップ 2 : [Configuration] > [ASA Firepower Configuration] > [Tools] > [Backup/ Restore] > [Backup Management] に移動し、バックアップファイルが作成されているかどうかを確認します。

- Cisco ASA FirePOWER
- – Cisco Systems